

第3研究課題 第3分科会

「教育環境整備に関する課題」

研究主題 「地域と連携した防災学習の推進に向けた教頭の役割」
ー防災の拠点としての自主的活動を進める体制づくりー

鳴門市第二中学校 宮越千佳

1 研究の概要

鳴門市は、紀伊水道に面した徳島県東部に位置し、南海トラフ巨大地震やそれに伴う津波、中央構造線活断層地震等の大規模災害の発生が懸念される地域である。

そこで、市内各中学校では生徒が主体的に防災に関わり、自らの命や家族・地域住民の命を守ることを重視し、防災学習・避難訓練などの活動を行っている。生徒が地域における自然災害のリスクと防災の正しい知識を理解し、災害が発生した際には適切な避難方法がとれるとともに被災後の避難所運営に協力し、災害ボランティアに意欲的に取り組む態度の育成をめざしていきたい。生徒が地域防災の担い手となり、地域を拠点とした自主的な防災活動を推進するため、教頭として、地域・関係諸機関等と連携した体制づくりについて報告する。

2 研究の内容

実践内容	教頭としての関わり
(1) 中学校での取組 ア 生徒の防災学習の充実 イ 地域の実態に合わせた防災訓練の工夫・改善	○ 学校間での情報の共有 ○ 地域の実態把握と連携
(2) 地域・関係諸機関との連携 ア 地域での情報の共有化 イ 研修の充実 ウ 人的・物的な資源整備	○ 地域・関係諸機関との連絡・調整 ○ 研修(フェーズフリー)・情報交換 ○ 施設・設備の点検・整備

3 教頭としての今後の課題

関係諸機関だけでなく、地元企業や有識者の積極的な参画により、より充実した協働体制を築くことができた。さらに、各学校との有意義な情報交換を行うことで、教職員の意識向上と生徒の防災活動へ意欲の高まりがみられるなどの成果をあげることができた。

しかし、次の2点が教頭としての今後の課題として考えられる。

- ・コロナ禍における地域・関係諸機関との連携活動の円滑化を、どのように図っていくか。
- ・避難所運営と学校再開に向けた具体的な取組について、行政・地域・地教委との連携体制の充実をどのように図っていくか。